

図書室だより

平成26年7月14日
立花中学校
図書室

夏の特別貸出中です！

来週は「夏休み」！宿題もたくさんありますが何冊か本を読んでみませんか？図書室も夏の特別貸出をしています。1回に4冊まで借りられ、返却は夏休み明けです。もちろん早く読めた本から返して、また1冊借りるのもOK。本は基本的に1作品1冊なので、希望者が多いと順番が回ってきません。ですから特別貸出期間とはいえ、読み終わったらすぐに返して(閉館時は返却Boxに！)もらうとありがたいのです。夏休みもときどき開館していますので上手く利用すればこの夏4冊以上読めますよ！



夏読書感想文Q&A 読書感想文チラシより抜粋

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたい」とか思っています。魅力的な題名は人を引きつける力があります。せっかくな読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいこと、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A 読書感想文は、本を読んだの自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「」（カギカッコ）でくくりましょう。




Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでもみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいか、自分が一番言いたいことは何なのかははっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

今年の課題図書

<p>星空ロック 那須田 淳:著</p> 	<p>14才のロック少年玲音(レオ)は師匠ケチル老人の残したレコードを、師匠の昔の恋人のもとへ届けようとひとりドイツに向かいます。そこで出会った天才ピアノ少年やボランティア活動の少女の助けをうけて目的の場所へたどり着きます。その過程で自己満足だった音楽が、仲間とセッションすることで彼のなかで大きな存在として意識され、師匠の若かりし頃とおなじく自分の「音」を探していこうと決意します。レオ君の彼女への淡い恋心も可愛くって背中を押したくなります。(でも絶対彼女に振り回まわされるぞ！)</p> <p>ライトノベルに近い展開で読みやすいと思います。</p>
<p>語りつぐ者 P. ライリー・ギフ:著</p> 	<p>父親が仕事で家をあけるため急遽家事能力ゼロに近い親戚に預けられることになったエリザベス。その家にあった自分に似た少女の絵に惹かれ、祖先について知ろうとします。その絵の少女ズイーは200年前のドジョっ子でなにをやっても失敗だらけ。しかしアメリカ独立戦争にまきこまれ母と家を失ってから出兵している父や兄のもとへ向かうという強い子に変わっていきます。ズイーの恋人によって描かれた絵が200年の時を経てエリザベスに物語をつないでいきます。</p> <p>外国作品ですがキャラが立っていてなじみやすいです。現代と過去が交錯するので整理して(2つのフォントを使い区別しています)読むことと、予め独立戦争について調べておくといいと思います。</p>
<p>ホタルの光は なぜだらけ 大場 裕一:著</p> 	<p>ホタルをみたことがありますか？詩や歌に描かれているほどその光は明るくありませんが、暗闇に光るそれは「輝いて」います。ではなぜひかるのでしょうか？この「なぜ」は「どんな目的で」、「どんな仕組みで」でもかまいません。この本ではホタルを含む「発光生物」と作者の出会いが描かれています。なので、理科学的に「発光原理」だとか「遺伝子の変化云々」はありません。この本はそちらではなく研究(勉強)において大切なことは「なぜだろう」と疑問をもち、それを解決していこうとする姿勢だと説きます。内容は科学者の姿勢ですが、学校の勉強でも同じことがいえるのではないのでしょうか。</p>

夏休みの開館について

7月	22(火), 23(水), 25(金), 28(月), 29(火), 30(水)
8月	8(金), 19(火), 22(金), 26(火) 29(金)

開館時間 午後0 ～ 午後1

通常どおり閲覧、貸出、返却を行います。8月8日までは特別貸出期間なので貸出は4冊ですが。19日以降は通常貸出扱いになり2冊、2週間に戻ります。夏休み中も新刊書籍が入る予定です。入口棚に注目しておいてください。